

「神戸市家庭版エコマニュアル」を活用し 「ストップ! 地球温暖化私たちに今できること」 を实践しよう!

神戸市では、2010年度を目標年次として、市域の温室効果ガス排出量を1990年度から6%削減することを目標に地球温暖化防止の取組みを進めてきましたが、2005年度現在、逆に5.5%増加しています。そこで、今回の「G8環境大臣会合」を契機に更にCO2削減に取り組んでいきます。特に、CO2排出量の伸び率が大きい家庭で協力してもらうため、各家庭でエコライフを実践していただく「神戸市家庭版エコマニュアル」が全戸配布されました。



◆神戸市家庭版エコマニュアル◆

マニュアルでは、一戸建てや集合住宅、単身や二世帯など家族構成別に月ごとの電気・ガス目標使用量を設定。リビング、台所、風呂・洗面所の3部門に分け、実践できるメニューを紹介しています。

例えば・・・[リビング編]では



なお、毎月の電気・ガス使用量の変化を記録する3年間分の診断シートも付いています。3ヶ月ごとにFAXやホームページで報告すれば、毎回50名にエコグッズのプレゼントもあります。

地球温暖化防止は、一人ひとりの小さな心がけの積み重ねです。

さあ、あなたも今日から「エコライフ達人」を目指しましょう!

◆ 問合せ先 ◆ 神戸市環境局地球環境課
☎:322-5301 ファックス:322-6064

知恵の「わ」

昨夏の参議院議員選挙で、兵庫県医師会が初めて民主候補を推薦しました。診療報酬を抑える自民・公明を嫌い診療報酬アップのため民主党を支援したのです。

この発端は、公明党の坂口力氏が厚生労働大臣当時、増える一方の医療費をまかなうため、公費や保険料など国民の負担を上げるだけでなく、お医者さんにも負担を分かち合ってもらおうと診療報酬を抑えたことでした。

医師会がかつて自民党にとっ

て強力な支援団体でした。しかし、こんな事情で今は必ずしもそうだとはいえない状況にあります。

また、民主党は老齢基礎年金を「税金」で支払うと提案して

医療・年金改革の舞台裏

民主党はかつての自民党!

います。この案に経団連が賛同しました。経団連と言えは、これもかつての自民党の有力支援団体でした。ではなぜ経団連が民主党に賛同するのか。サラリーマンの年金掛け金の半分を企

業が払っていますが、老齢基礎年金分を「税金」でまかなうなら、その分払わなくてすむから

一方、この「税金」は国民が払うのです。民主党は消費税を上

げて財源にと考えていますが、読売新聞の試算では、保険料無料で老齢基礎年金をもらうより消費税アップの方が高つく

ようです。

民主党とは誰のための政党なのか。選挙に勝ちたいがあまり、民主党はかつての自民党のように企業・団体の利益を代弁する政策を打ち出しています。かつて自民党幹事長だった小沢さんが民主党の代表だから当然かもしれません。

市民の暮らしを守るためには、イメージではなくこのような事実を見極めることが大事だと考えています。



公明党神戸市議員団



長田和哲
長田区



芦田賀津美
北区



山田哲郎
北区



菅野吉記
兵庫区



沖久正留
中央区



北川道夫
東灘区



藤本浩二
西区



吉田謙治
西区



大澤和士
垂水区



壬生潤
垂水区



向井道尋
須磨区



松本修
須磨区